

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 25 年 6 月 6 日現在

機関番号：24402

研究種目：基盤研究(B)

研究期間：2009～2011

課題番号：21330104

研究課題名（和文） 東アジアにおける商人精神の国際比較

研究課題名（英文） International comparison of merchant spirit in East Asia

研究代表者

加藤 司(KATO TSUKASA)

大阪市立大学・大学院経営学研究科・教授)

研究者番号：50161104

研究成果の概要（和文）：本研究では、商業者の利潤動機と社会的貢献の二側面を包摂する「商人精神」という観点から、(1)関連する「家業」、「のれん」など過去の研究蓄積を整理し、(2)国内において商業者と地域コミュニティの関係を東日本大震災によって被災した商店街などのケース・スタディを通じて明らかにし、(3)東アジアにおける韓国、中国を中心に商業者、商店街組織の実態について比較調査を実施した。その成果として、商業者と地域社会ならびに政策とが複雑に絡み合う関係を明らかにする枠組みが構築された。

研究成果の概要（英文）：In this study, "merchant spirit" which embraces both aspects of profit pursuit and social contributions is keyword. From this point of view, the framework is established,(1) to elaborate an idea of "merchant spirit" by reviewing related concepts, such as "family business" and "noren"(which values a long lasting trust relationship with customers), (2) to analyze various relations between shopping streets and their neighborhood, (3)to compare Japanese retailers and their organization with foreign counterparts in East Asian countries, such as South Korea, China and so on.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2009年度	4,000,000	1,200,000	5,200,000
2010年度	4,000,000	1,200,000	5,200,000
2011年度	3,200,000	960,000	4,160,000
年度			
年度			
総計	11,200,000	3,360,000	14,560,000

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：経営学

キーワード：コミュニティ、商人精神、国際比較、東アジア

1. 研究開始当初の背景

1990年代以降、「大規模小売店舗法」の規制緩和に伴い、郊外型ショッピングセンターの出店が旺盛となり、中心市街地の商店街の衰退が全国的な問題となっていた。その衰退の原因を大型店との

競争激化、都市機能の郊外移転に伴う中心市街地の空洞化、大型店に対抗する商店街の組織上の問題(管理しうる主体の欠如)、商店内部の後継者問題などに求める議論が活発に行われた。他方で、商店街を構成する中小小売店の支援策と

しては、従来の商業支援から、商業者が地域の中で果たす役割に注目した「まちづくり」の視点が強調された。まちづくりは、商業者の販売だけでなく、様々な地域貢献を期待するものであり、両者をどのように位置づけるかという理論的問題だけでなく、政策の有効性が問われていた。

2. 研究の目的

なぜ、商店街やそれを構成する中小商業者は衰退することになったのか、同時に商店街の活性化のためには、個店の経営改善のみならず、地域の活性化、コミュニティやまちづくりに果たす商業の役割を理解する必要性が注目された。そこで、商業者の利潤動機と地域貢献という二つの側面を包摂する「商人精神」という概念に注目し、日本においては二つの側面がどのように関連づけられてきたのか、それは「家業」「のれん」といった考え方とも関係するが、それは歴史的にどのように形成されてきたか、と同時にそれは他の国、とくに東アジアの国々に比べてどのような特徴を持っているのか、もし日本独特の概念だとすれば、それは商店街の衰退とどのように関連し、またそれらの点を踏まえて商店街に対するどのような振興政策が有効になるのか、これらの一連の問いに対する答えを探し出すことを研究の目的とした。

3. 研究の方法

家業、「のれん」などに関連する過去の研究蓄積を整理し、実態分析を行う場合の理論的枠組みを構築する。

「商人精神」という観点から、国内における商業者と地域コミュニティの関係が商店街の盛衰にどのように関連しているかをケース・スタディにより明らかにする。とくに利潤動機と地域貢献の二つの側面が噛み合った成功事例を見つけ出し、両者の相互用、またそれらがどのようにマネジメントされているかという観点から分析を深める。

国際比較の観点からは、日本の商業者の「商人精神」の特徴を浮き彫りにするために、東アジアを中心とした商業者、商店街組織の実態についてヒアリング調査を実施する。

4. 研究成果

国内において商業者と地域コミュニティとの関係を重視する商店街(青森市新町商店街振興組合)や中小商業者主導

型の SC(北上市の江釣子ショッピングセンターバル)などを比較検討する中で、組織内、組織外(対消費者、コミュニティ)との良好な関係を構築している組織ほど、良好な業績を上げている。しかし、郊外の SC が一定以上のシェアを越えると、それにも限界があることが確認された。

儒教精神の影響が強い東アジア文化圏において、商業者の社会的地位は決して同じではない。中国や韓国では、商業は生計を得るための手段であり、同じ事業を家族内で継承させようとする意向は見られない。中国では事業の安定、拡大のために商業から製造業、不動産業への転業が積極的に進められるのに対し、日本では同じ業種で、家族内での継承にこだわりが見られ、現状では空き店舗の一因となっている。韓国、中国、ベトナムでは「市場」の近代化としてその整備、集約が行われたものの、日本のように商店街が振興策の補助金の受け皿とはなっていないし、また地域コミュニティとの信頼関係も希薄である。今後、大型店との競争が激化する中で、韓国のように商店街が振興策の受け皿として活用される可能性は高い。

2011年の東日本大震災は、あらためて地域商業がコミュニティの再生に果たす役割を確認させる機会となった。当初、非常事態における「商人精神」についての分析は想定されていなかったが、商店街だけでなく、コンビニエンスストア、食品スーパーなども被災後の「供給責任」や復興支援を強く意識するようになり、利潤動機と社会貢献をどのように「両立」させるかという研究課題の重要性が再認識された。こうした一連の調査研究を通じて、商業者と地域社会との関係ならびに政策などと複雑に絡み合いながら展開される商人精神を複眼的に分析するとともに、それらの総体として明らかにする枠組みが構築された。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 47 件)

①柳到亨「日韓小売商業における後継者有無の規定要因について」『経済理論』(和歌山大学経済学会)第 366 号、89-105(2012)

②加藤司「地域商業の活性化とまちづくりの課題―買い物弱者問題に関連して」『生活協同組合研究』vol. 431、13-22(2011)

③石原武政「小売業から見た買物難民」『都市計画』Vol. 294, 46-49(2011)

④石原武政「地域商店街活性化法の背景—地域コミュニティの担い手としての商店街への期待—」『自治体法務研究』No. 25, 7-12(2011)

⑤石井淳蔵「中国の家族はなぜ別々の船で逃げるのか」PRESIDENT、49巻12号、20-21(2011)

⑥横山斉理・柳到亨「東アジアにおける商店経営の家業意識に関する国際比較研究」流通科学大学論集 流通・経営編24巻1号、1-20(2011)

⑦柳到亨・横山斉理「韓国の小売商業における経営志向が投資意識に与える影響について」『経済理論』(和歌山大学経済学会)第365号、47-72(2011)

⑧崔相鐵「日本におけるチャネル研究の空白ゾーン」『季刊マーケティング・ジャーナル』(日本マーケティング協会)31巻1号、4-18(2011)

⑨加藤司「商業における事業継承の特殊性—家族経営商店の競争力—」『中小商工業研究』第102号、107-115(2010)

⑩石原武政「地域商業政策の系譜」『商学論究』58巻2号、55-89(2010)

[学会発表] (計15件)

①柳到亨「東アジアにおける事業継承の国際比較」山東大学経済学院和歌山大学経済学部共同研究会(2011, 12. 15), 和歌山大学

②加藤司「コミュニティ型商業の特質と再生の方向」日本商業学会第61回全国研究大会(2011, 5. 29)熊本学園大学

③横山斉理「商店街のマーケティング」日本商業学会第61回全国研究大会(2011, 5. 29)熊本学園大学

④加藤司「日本における中小小売業の競争力強化のための提言—商人精神の観点から—」(招待講演)、中小商人学術大会(2010. 10. 24), 韓国コヤン市

⑤横山斉理・高室裕史「東アジアの商業における事業継承の実態に関する比較調査」日本商業学会第59回全国大会(2009, 5. 30), 関西大学

⑥柳到亨・崔相鐵「地域密着型小売商における『家族意識』に関する実証研究」日本商業学会第59回全国大会(2009, 5. 30), 関西大学

[図書] (計10件)

①石原武政・西村幸雄編「まちづくりを学ぶ」有斐閣、269(2011)

②石原武政編・流通産業研究所『商務流通政策』流通産業調査、522(2011)

③加藤司・石原武政編著『地域商業の競争構造』中央経済社、275(2009)

④石井淳蔵・向山雅夫編著『小売業の業態革新』中央経済社、326(2009)

⑤石原武政・加藤司編著『日本の流通政策』中央経済社、262(2009)

6. 研究組織

(1)研究代表者 加藤 司(KATO TSUKASA)
大阪市立大学・大学院経営学研究科・教授
研究者番号：50161104

(2)研究分担者 石原 武政
(ISHIHARA TAKEMASA)
流通科学大学・商学部・教授
研究者番号：20047301

(2)研究分担者 石井 淳蔵(ISHII JUNZOU)
流通科学大学・商学部・教授
研究者番号：50093498

(2)研究分担者 崔相鐵(CHOI SANG_CHUL)
流通科学大学・商学部・教授
研究者番号：10281172

(2)研究分担者 高室 裕史
(TAKAMURO HIROSHI)
流通科学大学・商学部・教授
研究者番号：30368592

(2)研究分担者 田村 晃二(TAMURA KOUJI)
大阪市立大学・大学院経営学研究科・准教授
研究者番号：70419670

(2)研究分担者 横山 斉理
(YOKOYAMA NARIMASA)
流通科学大学・商学部・准教授
研究者番号：70461126

(2) 研究分担者 柳 到亨 (RYU DOHYEONG)

和歌山大学・経済学部・准教授

研究者番号 : 00437451